重複障害者の出来るを支援するテクノロジー

視線入力でコンピューターを使う車椅子に乗った子供
https://www.irasutoya.com/2018/02/blog-post_55.html?m=1

今回私は視線入力について触れる。
重複障害者の方が視線入力というテクノロジーの力を利用してベットの上から社会に参画する姿を見て、自立した生活を支えている【視線入力】というテクノロジー について興味を抱いたため、以上のようなテーマを設定した。

視線入力とは

専用の機器を用いてパソコンのマウスを視線を用いて操作し文字に出力する。手や口を使わずに視線のみで情報機器の操作が可能なため、手や口が不自由な重複障害者の方々にとっての有効なコミュニケーション手段となる。

できる力を支援

故意的に動かせる体の範囲が少ない重複障害者の方は、活動が受動的になりがちである。視線の向く方向の転換や注視などの出来ることを活用し、新たなコミュニケーション方法を確立させる視線入力は能動的な活動を可能にし、課題解決の糸口となる。

視線入力のような支援機器のポテンシャルの高さは認められつつも、機械が高価であることや、使用方法の難しさなどからあまり導入が進んで来なかったが、近年安価な機器の普及などによりコミュニケーション方法の拡充や教育活動の場で利用が進められつつある。これらの機器が重複障害者の方の持てる力を高め、出来ることが増えていく喜びを味わう契機になる事を願う。